



2026年

おすすめの本 高学年

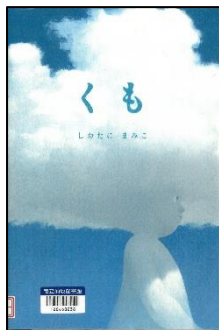
過去3年間の出版物を中心に
市立須坂図書館職員が選びました。



ほん
本をよむのは だれのため？ おかあさんのためじゃない。
がっこうのせんせいのためでもない。たくさんたべて、せが
のびるように、たくさんよんで、^{おお}こころを大きくするため。
ぼくのため。わたしのため。

くも

しおたにまみこ/作 偕成社



おおぞら ^めめ ^{おんな}おんな ^ここ
大空をわたる「くも」と目があった女の子。どうやっ
たらなかよくなれるか ^{かんが}かんが ^めめ ^{まえ}まえ
考えて、くもの目の前に「た
こ」をあげることに。かぜが ^{つよ}つよ ^{いと}いと
き ^とと
切れて飛ばされたたこは……。

Eシオ

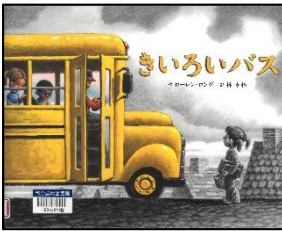


じんせいはいしがみついてなんぼです

木坂涼/詩 長谷川義史/絵 フレーベル館

どうぶつ　　こころ　　こゑ
動物たちの心の声をきいてみよう。「じんせいはいしがみついてなんぼです」これは、コアラの名言。
はし　　でんせつ
「走りっぷりは伝説となり」これは、きっとイノシシだね。「詩」がこんなに楽しくて、おどろく本。

K911 キ



きいろいバス

ローレン・ロング/作 林木林/訳 あすなる書房

こ　　はし
子どもたちをのせて走っていた、ぴかぴかのスクールバス。時が流れて、のせるのは、老人たちになり、やぎたちになり、ついに……古びていくバスが、ふたたびかがやける場所を見つける物語。

E ロ



ねえ、おぼえてる？

シドニー・スミス/作 原田勝/訳 偕成社

あたら　　じんせい　　あゆ　　はは　　こ
新しい人生を歩みはじめた母と子。やっとたどりついた新しい家で迎える、はじめての夜。「ねえ、おぼえてる？」ねむりにつく前、ふたりは、かわるがわる思い出を語り、それらを乗り越えて……。

E スミ



ちず みせ じゆんきつ さ
地図にないお店 純喫茶クライ

吉田桃子/作 中島梨絵/絵 岩崎書店

しょんぼりしている子どもがいます、お店のあかりがともります。なかで待っているのは、ミルクセーキにプリンアラモード、心あたたまるメニューと、マスターさん。心に希望をともしてくれます。

K913 E



き
消えたモナ・リザ

ニコラス・デイ/作 千葉茂樹/訳 小学館

1911年、「モナ・リザ」が盗まれた！ 迷路のようなルーブル美術館から、どうやって持ち去ったのか？そして、どのように発見されたのか？ 名画モナ・リザを一躍有名にした事件の一部始終。

K720 テ



どくしょかん そうぶん お
読書感想文が終わらない！

額賀濤/作 Satsuki/絵 ポプラ社

どくしょかんそうぶん にかて
読書感想文が苦手？ それなら、フミちゃんにおまかせ！ 小学校の図書室で、読書感想文を助けてくれる、へんな中学生にみちびかれ、感想文を書きはじめると……感想文がちょっと好きになれる本。

K913 又



はじめてまして ^{あか ほし} 赤い星 ^{ひと かせい す ほうほう} 人が火星に住む方法

エドゥアール・アルタリ-バほか/作 渡部潤一/監訳 化学同人

^{よぞら} 夜空にかがやく^{あか ほし かせい} 赤い星「火星」。いつの日か、^ひ ぼく
^す たちが住むためには、^{せいび} どう整備していけばいいんだろ
^{たてもん} う。建物は？ ^{た もん} 食べ物は？ ^{かせい く} ユニークな火星の暮らし
^{そうぞうりよくゆた} を、想像力豊かにえがいた^{うちゅう えほん} 宇宙の絵本。

児童室 K445ハ



おいしい！がわかる ^{しょうがくせい} 小学生からのお菓子の科学 ^{かし かかく}

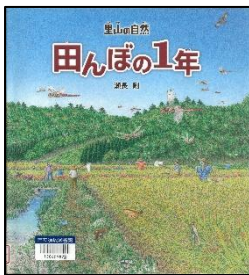
^{なつやす} 夏休みの自由研究から^{じ ゆうけんきゆう} お菓子づくりの^{かし} こつまで、

たのしく^{まな} 学べる^{かかく} レシピと科学のおはなし

木村万紀子/作 柴田書店

^ま 混ぜたり、こねたり、かためたり、^{じっけん} 実験のように^{たの} 楽し
^め めて、^た でおいしく^{かし} 食べられる！ ^{たの} お菓子づくりを^{たの} 楽しみ
^{まな} ながら「なぜ？」が^{しょうがくせい} 学べる、^{ちょうり} 小学生の^か 調理^か 科学の本^{ほん}。

自由研究 K596キ



た ^{ねん} 田んぼの1年

瀬長剛/作 偕成社

^{にんげん} 人間が^{さくもつ} 作物や^{ねんりょう} 燃料などを^え 得るために^{じん} つくった人
^{こうてき} 工的な^{しぜん} 自然「^{さとやま} 里山」。その^た 田んぼを^{ぶたい} 舞台に、^{きせつ} 季節ご
^{さぎょう} との作業や^{ふうけい} 風景、^く そこで^い 暮らす^{いろ} 生きものたちを、^{いろ} 色
^{えんぴつ} 鉛筆で^た えがく。^い 田んぼの^{ずかん} 生きもの^{ずかん} 図鑑つき。

K616せ



わたしのぞうさん

アンナ・アニーシモヴァ/文 ユーリヤ・シードネヴァ/絵
藤原潤子/訳 かけはし出版

かくれんぼ、お料理、お絵かき、動物園にぞうを
見に行ったこと……この子って、ほんとうに目が見
えない女の子なの？ 目の見えない人がどのよう
に「見る」のか、新しい発見がある絵本。

E 外

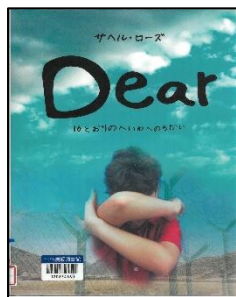


Bronterきょうだいのちいさな手づくり絵本

サラ・オレアリー/作 ブライオニー・メイ・スミス/絵
ひびのさほ/訳 岩崎書店

まだ本が貴重だった時代。Bronter一家にやって
きた、おもちゃの兵隊。きょうだいは、この兵隊のため
に絵本をつくりました。名作『嵐が丘』『ジェーン・
エア』のBronterきょうだいの子ども時代。

K289 プ



Dear 16とおりのへいわへのちかい

サヘル・ローズ/作 イマジネイション・プラス

戦争によって国をこわされ、親を殺され、難民と
なってしまった子どもたちのことを知ってほしい。に
くしみだけでなく、やさしいことばにあふれる彼らの
手紙や絵を、サヘルさんが紹介します。

戦争コーナー E デイ